

連峰

Renpoh

No. 329

発行日●平成30年5月31日
発行人●飯田メディカルヒルズ
編集 IMH 広報委員会
長野県飯田市毛賀 1707 番地
TEL 0265 - 26 - 8111 (代)

特集

創立 44 周年記念式典・祝賀会

～新入職員入職式・永年勤続者表彰式～



永年勤続者表彰式の様子



新入職員入職式の様子

第 I 部 記念式典



IMH創立44周年記念式典・祝賀会

～新入職員入職式・永年勤続者表彰式～



理事長 土屋 隆 式辞

この一年間に、飯田メディカルヒルズ（IMH）関連全施設および在宅において、お亡くなりになった方々に対して、謹んで哀悼の意を表して、黙祷を捧げます。

〈黙祷〉

今年も、こうして44回目の創立記念日を迎えることができました。これは、偏に、多くの皆様方のご理解ご支援のお陰であることを、忘れてはなりません。しかし、何と云っても、その第一の原動力となったのは、これから、永年勤続表彰を受けられる皆様をはじめこのIMHに在籍した全職員のご尽力の賜であります。

この冬は記録的な厳しい寒さに難渋しましたが、3月に入って漸く春到来と安堵したところ、逆に、平年以上に気温が上がり、当飯伊地区は例年より一週間も早く、県下に先駆けて、桜の開花宣言がありました。また、病院前の紅梅・白梅も病院脇の天竜河畔の彼岸桜もすでに満開です。

■ 新入職員入職式

今日のこの佳き日に、入職された諸君に対してあらためて申し上げます。

「入職、おめでとうございます。」

諸君が、医療・福祉関連の職種を選択された見識と、さらに、この飯田メディカルヒルズ（IMH）の一員になることを決断された気概に対して、心から敬意を表します。

心うきうき華やぐ季節であります。新たな出会いと別れがあり、一方で、なぜか少々不安な、感傷的な複雑な気分になる時季でもあります。これが気楽な学生生活に別れを告げ、厳しい社会の一員になったという区切りであることを、明確に認識しなければなりません。皆さん全員は、職種に限らず、患者さん、入所者の皆さん、また同僚の皆さんに接するに当たって、職業人として真摯

な姿勢で、特に、思いやりの心と尊敬の気持ちを持つことが最も大切であります。また、今日まで、お世話になったご家族をはじめ、ご支援下さった全ての皆様に対する感謝の気持ちも、忘れてはなりません。これから先、経験、知識を積んで一人前になって行くのですが、謙虚さを失ってはなりません。

以上の心構えをしっかりとって、自身に課せられた責務を、誠心誠意全うしていく限り、諸君たちの人生が、安定した希望あるものになることは、間違いありません。新入職の諸君が、この組織に新たな活力を注いでくれることを、大いに期待しております。今日という日が、経験豊かな先輩と清新な後輩がチームワーク宜しきを得て、IMHの一層の発展に向けて、スタートする記念すべき機会になるよう願って、入職に当たっての訓辞と致します。

■ 永年勤続者表彰式

永年勤続の皆さんに、心からお祝いと感謝を申し上げます。

今日まで倦まず弛まず勤続できたということは、皆さんが、それなりの条件に恵まれていたからであろうと思います。その条件の第一は、健康であったということです。ご両親から受け継いだ健全な心身に加えて、自己管理が出来ていた証でもあります。次は、ご本人を取り巻く環境です。ご家族をはじめ周囲の皆さんのご理解とご協力に感謝しなければなりません。しかし、一番大事なことは、言うまでもなく、ご本人の勤労精神です。今日に至るまでには、長い人生です、有為転変いろいろあったことでしょう。良いことばかりではなかったでしょう。しかし、その苦境を不撓不屈の精神をもって乗り越えて、今日を迎えるに至った皆さんに対して、心から敬意を表す次第です。よって、茲に永年勤続の功績を称え表彰致します。

4月1日（日）、当院講堂「レインボーホール」に於いて、IMH創立44周年記念式典・祝賀会～新入職員入職式・永年勤続者表彰式～が挙行されました。新入職員18名に辞令及び職員証が交付されました。その後の永年勤続表彰では、61名の職員（勤続5年～30年）が表彰されました。

新入職辞令及び職員証交付

誓いの辞

新入職員を代表いたしまして、ひとこと誓いの辞を述べさせていただきます。桜の便りが聞かれる、この美しい時期に、私ども新入職員のために、このように厳粛で、心に残る入職式を催していただき、誠にありがとうございます。先ほど、理事長様からいただいたお言葉を、しっかりと心に留め、誠心誠意努めてまいる所存でございます。

今日から、＜保健・医療・福祉＞を三位一体とした、サービス提供体制のもと、それぞれの能力を精一杯発揮し、この飯田下伊那地域に、貢献できますことを、大変光栄に存じております。今後はプロフェッショナルとして、知識・技術・コミュニケーション能力等の獲得に努め、自身の糧となる様、日々努力いたしてまいります。そして、学び得た事を患者様・利用者様はもちろん、地域

の方々へ還元し、寄り添っていける様な医療人を目指してまいります。また、今日ともに入職した仲間たちとの巡り合いを大切に、チーム医療を担うメンバーの一人として、力を発揮できる様、協力していきたいと思っております。とはいえ、何分にも私どもは、未熟でございますので、先生方をはじめ、諸先輩方のご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に一日も早く、立派な組織の構成員となり、患者様・利用者様の支えとなれるよう、日々精進することを、ここにお誓い申し上げます。

新入職員代表 金田 美咲希



開式の辞
理事長補佐 原 修



院歌斉唱
コーラスクラブ「グリーンエコー」

永年勤続者の表彰

満 35 年勤続表彰者



診療放射線技師長 遠山 隆文

満 30 年勤続表彰者



看護補助者主任 古瀬 澄夫



施設安全管理課主任 樋口 登



准看護師主任 岡島 三賀子

満 20 年勤続表彰者



副院長 仁科 裕之



看護副総師長 小林 一夫



看護師長 原田 嘉和



診療放射線副技師長 古井 隆生

満 15 年勤続表彰者代表



看護副総師長 河村 由紀子

満 10 年勤続表彰者代表



分院レディース
検診センター長 足立 立子

満 5 年勤続表彰者代表



本院副院長 平井 敦



IMH創立44周年記念式典・祝賀会
～新入職員入職式・永年勤続者表彰式～



永年勤続者代表 お礼の詞



閉式の辞
常務理事 土屋 公威

お礼の詞



永年勤続者一同を代表致しまして、一言お礼の言葉を、述べさせていただきます。今年も、桜花爛漫のこの良き日に、第44回飯田メディカルヒルズ創立記念式典において、永年勤続表彰の栄に浴し、一同、感謝の念に堪えません。これも偏に、理事長をはじめ、この組織全員の方々の、ご指導、ご鞭撻の賜物と心から御礼を申し上げる次第です。

私事ではありますが、私が、医師という仕事を目指したのは、若き日の、土屋理事長とお会いしたのがきっかけでした。実は、私の父が小さい頃から、竹馬の友だった同級生の、重篤な状態に遭遇して、「まだ諦めることはない！」と現理事長のお父上と相談して、大学病院に勤務している理事長のところへ、紹介することになりました。こうして、当時、まだ中央道もない状況の中で、その患者さんを車に乗せて、夜中に名古屋の旅館に辿り着いたのでした。翌朝、大学病院を受診したところ、腎不全末期の、重篤な状態であることが判明しました。幸運にも、その診療にあたったのが、その領域を専門とする、土屋理事長だったのです。大学病院の透析室長でもあった理事長が、早速、透析療法を開始し、奇跡的に救命されたということが郷里飯田へ伝えられました。その話を聞いて、続いて、同様の重篤な患者さんが理事長のもとへ、紹介されたのでした。その当時、この飯伊地区には、透析医療を実施できる施設はなく、昭和48年の暮れに、お年取りのため帰郷した、このお二人の透析を実施するために、急

遽、下殿岡の田んぼの真ん中に建設されたプレハブ造りの診療所で、透析医療が始まりました。当時、大学の外科学教室の要職にありながら、飯伊地域の腎不全の患者さんのために、名古屋・飯田間を往復しながら、奔走する理事長の姿を目の当たりにして、一種の感動を覚えたことを思い出します。そこで、私は中学を卒業したところで、理事長のお父上のお世話で、名古屋へ行き、高校・大学と名古屋で過ごしました。大学卒業後は、理事長のご紹介で、東京女子医科大学・太田和夫教授の下で、7年間研鑽を積み、平成9年6月に帰郷し、輝山会記念病院のスタッフの仲間入りをさせていただき、爾来、入職20年になりました。その当時を振り返ってみますと、病院は、現在のA館のみでした。下久堅地区住民の要望で、同地区に、診療所を開設することが、議会で採択され、飯田市の要請で、下久堅診療所が開設されました。その後、C館が完成し、全国初となる、医療と介護が連携した施設が誕生しました。さらに、上久堅診療所、下條診療所が、それぞれ地元の強い要請により開設されました。また、飯田市からの委託で、中部デイサービスセンター事業も開始しました。私が、平成19年から、3診療所の所長・統括管理者として、また、平成23年には、医療法人 輝山会記念病院・副院長を拝命し、現在に至っております。

以上のように、私個人は数々の経験を積みさせていただき、大変有り難く感謝いたしております。今年も多くの職員が入職されました。私たち先輩も、今一度、初心にかえって、このIMHが目指すべき道を再認識し、如何なる困難にもめげず、新たな栄光ある歴史を刻むべく、精進する覚悟であります。何卒、従来にも増して、ご指導、ご支援賜りますよう心からお願い申し上げます。お礼の言葉にかえさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

永年勤続者代表 仁科 裕之



第44回 飯田メデイカルヒルズ創立記念式典・祝賀会

平成30年4月1日

—永年勤続受賞者・新入職員—

第Ⅱ部 祝賀会



IMH創立44周年記念式典・祝賀会 ～新入職員入職式・永年勤続者表彰式～



先ほど表彰をお受けになった永年勤続の皆さん、おめでとうございます。皆さんは、今や、この組織にとって、掛け替えのない有為な人材であります。模範的な立派な先輩として、次代を担う後輩達の指導に当たって頂きますようお願い致します。

また、新入職なされた諸君にも、あらためて、おめでとうと申し上げます。この組織には、先ほど永年勤続者表彰をお受けになった先輩をはじめ、立派な先輩が大勢います。この方々は、どのような信念を持って、今日まで成功の道を歩んで来たのでしょうか。毎年、申し上げていますが、先輩の諸君も忘れていたら、想起して欲しいのですが、ある学者は、人生成功への基本的三条件を説いています。その条件は、

- (1) 明るく素直であること
- (2) 勉強が好きであること
- (3) 物事を悲観的に考えない、プラス思考であることです。

これに加えて、思いやりの心と感謝の気持ちをいつまでも忘れないことが肝要です。

今日まで、勤続できた多くの諸君が、自身の人生を省みて、悔いはない、成功であったと思えるのは、この条件が備わっていたということです。

私は、長年にわたって、諸君の成長の過程を観て来た者の一人として、さもありなんと全く同感であります。

この基本的条件は、組織にとっても必須であります。このようなスタッフによって構成される組織が、大きく成長・発展することは間違いありません。このことを、しっかり銘記しておいてください。

おわりに、アメリカの実業家・詩人・教育者であったサミュエル・ウルマンの「青春の詩」の一節を紹介します。

『人は信念とともに若く、
疑惑とともに老いる。
人は自信とともに若く、
恐怖とともに朽ちる。
青年は希望とともに若く、
失望とともに朽ち果てる。』

若さとは、精神のあり方で、肉体的な年齢ではないのです。「青春とは心の若さである」と言い換えることが出来ます。新入職の若い世代の諸君は、言うまでもなく、永年勤続の皆様と「信念」「自信」「希望」を持って、定年など気にしないでいつまでも若々しく、七十才、八十才までも青春であってくださるようお願いしています。

創立記念式典後、祝賀会が執り行われました。被表彰者、新入職員を祝い、また、会場にいる職員全員でこれからの輝山会グループの発展を誓い合いました。ご馳走を囲み、職員同士の交流も深めることができ、素晴らしい会となりました。



新入職員自己紹介 ひとりひとり、仕事に対する意気込みを述べました



余興 プロ、新入職員による余興があり、会場全体で盛り上がりました



和心三味線 弦

左から 中平 めぐ 様 梅本 まゆみ 様 正岡 美香 様

南信地域を中心に、お祭やイベントなどでご活躍され、多くの方に三味線の音色を身近に感じていただけるよう、「和」の心を大切に演奏なさっています。

津軽三味線、王道の民謡はもちろん、様々なジャンルの楽曲にも三味線ならではのアレンジを加えた演奏で会場を盛り上げていただきました。



新入職員による余興



サライ合唱 全員で手を繋ぎ、輪を作って恒例のサライを合唱しました



万歳三唱 会の締めくくりに全員で万歳三唱をしました



左から 看護総師長 山口 逸子 宇佐美基彦税理士事務所 山田 昌男 様
 武井一男税理士事務所副所長 内田 幹子 様 新入職員・理学療法士 佐藤 洸介
 本院副院長 前本 勝利



閉会の辞
 本院院長 露久保 辰夫